



Junior Drive  
Shiraishi Racing School

# REPORT

報告書

2月11日 (土)

岡国フォーミュラトレーニング

2月15日 (水)

舞洲フォーミュラトレーニング

2月17日 (金)

岡国フォーミュラトレーニング

2月23日 (木)

岡国フォーミュラトレーニング

# 2023 2 FEB

SPORTS KART



Rental Kart Land ISK

舞洲スポーツアイランド

Tommy kaira



PRO e-RACING DRIVERS

GARAGE38

Luce ed ombra



Art's World Racing Group On







10℃

Track  
OKAYAMA

Driver  
Yuma Sugita

## ★トレーニングプログラム

- 08:50～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 09:00～ フォーミュラ走行枠① 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 09:35～ ロガー & 車載映像 解析
- 10:10～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 10:20～ フォーミュラ走行枠② 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 10:55～ ロガー & 車載映像 解析
- 11:30～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 11:40～ フォーミュラ走行枠③ 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 12:15～ ロガー & 車載映像 解析
- 13:00 解散





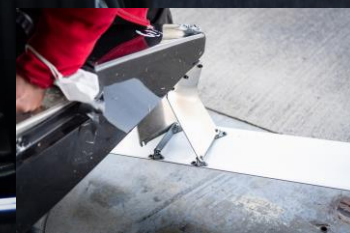
## 初めてのクラッシュ

2期生の杉田がトレーニングに参加しました。この日は雨から晴れに変わる予報で路面コンディションは回復へ向かうことが予想されました。

ウェット路面の中、1セッション目がスタートしました。前日までスーパーGTのタイヤテストが行われており、路面にはハイグリップタイヤのラバーが乗っている状態で、いつもとは少し違うコンディションでした。アウトラップを終え、計測1周目へと入っていった1コーナーで止まり切れず、ややオーバーラン気味になりますが、何とかコース上に止められました。しかしダブルヘアピンの立ち上がりでコントロールを失い、コンクリートウォールにヒット。マシンは大きくダメージを受け、この日の走行はこれで終了となりました。

杉田がこの日走行したのはわずか1周のみ。3セッションある1日のメニューを消化できず終えてしまったので、これを教訓に次回以降のトレーニングに繋げてもらいたいです。

4日後には3期生のトレーニングが控えているため、早急なマシン修復が必要でした。







9℃

**Track**  
MAISHIMA

**Driver**  
Kamui Hashiramoto/Haein Hwang/Tomo Onohara

## ★トレーニングプログラム

- 9：45～ 集合（広場現地にて）
- 10：00～ 脱出訓練（5秒以内にマシンから降りる練習）
- 10：15～ ドグミッション慣熟走行① 10分×3名 ロングストレート 3速ギヤまで
- 11：00～ ドグミッション慣熟走行② 10分×3名 ロングストレート 4速ギヤまで
- 12：00～ 昼休憩
- 13：00～ Aコース練習走行① 10分×3名
- 13：45～ Aコース練習走行② 10分×3名
- 14：30～ Aコース練習走行③ 10分×3名
- 15：15～ ロガーチェック
- 15：30～ Aコースタイム計測走行 5分×3名
- 16：00～ ロガーチェック
- 16：15～ コース清掃＆車両ワックスかけ
- 17：00 解散





## 基礎トレーニングも終盤へ

3期生たちのフォーミュラトレーニングが行われました。ドライバーは柱本翔夢伊（12）、ファン・ヘイン（10）、小野原智（10）の3名が参加しました。

朝の脱出訓練を終え、走行練習へと移ります。まずは直線区間のみを使用した発進～シフト操作を重点的に行いました。3名ともシフトミスが減り、成功率が高くなってきました。一度リズムを崩すと、そこから戻すまでに時間がかかるドライバーもありますが、前回よりも確実にレベルを高めて来ています。

午後からはコース周回を重ねるサーキットトレーニングに移ります。この日の舞洲は気温/路面温度が低く、スリックタイヤでは作動温度領域に届かないため、グリップ力が低く滑りやすい走行となりました。各ドライバー、カウンターステアを当てる場面が多く、スライドコントロールの訓練には最適なトレーニングが行えました。雪がちらつく中、問題なくトレーニングメニューを消化し、この日の練習の成果を発揮する5分タイムアタックが始まりました。これまで柱本が一歩リードして、そこからファン。その後ろに小野原という勢力図でしたが今回は違いました。小野原が朝から勢いが感じられ、5分アタックでも速さを見せました。最終的には柱本がトップとなったものの、0.2秒差で小野原がすぐ背後まで迫り成長を見せました。





13°C

**Track**  
OKAYAMA

**Driver**  
Yuma Sugita/Yuzuki Miura

## ★トレーニングプログラム

- 10:00～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 10:10～ フォーミュラ走行枠① 60分 ドライバー：Yuma Sugita
- 11:15～ ロガー & 車載映像 解析
- 12:20～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 12:30～ フォーミュラ走行枠② 60分 ドライバー：Yuzuki Miura
- 13:35～ ロガー & 車載映像 解析
- 14:40～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 14:50～ フォーミュラ走行枠③ 60分
- 15:55～ ロガー & 車載映像 解析
- 16:30 解散





## 気持ち切り替え、いざ勝負。

1期生の三浦と2期生の杉田がトレーニングに参加しました。朝の気温は0℃。しかし昼には12℃まで上がる予報でした。

1セッション目は前回クラッシュを期してしまった杉田。この日の目的は“クラッシュの悪いイメージから脱却し、これまでのスピードを取り戻すこと”にありました。無事に周回を重ね、徐々にペースを上げていきました。

2セッション目は三浦が走行します。走り出しからペースが良く、リアルタイムのオンボード映像からもその好調さが伝わってきました。そして遂に、杉田が持つスクールカーでのベストタイムを0.2秒更新し、大きく自信をつける良い形でこの日のトレーニングを終えました。

3セッション目は杉田がドライブ。三浦のタイムに刺激を受けたのか、慎重な1セッション目とは裏腹に、攻めの走りになっていました。杉田もクラッシュ後とは思えない、素晴らしい走りを見せ、ラップタイムも以前と変わらないところまでペースを上げ、これまでのスピードを取り戻すことができました。





10°C

**Track**  
OKAYAMA

**Driver**  
Yuma Sugita/Yuzuki Miura

## ★トレーニングプログラム

- 13:10～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 13:20～ フォーミュラ走行枠① 30分 ドライバー：Yuma Sugita/Yuzuki Miura
- 14:25～ ロガー & 車載映像 解析
- 14:30～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 14:40～ フォーミュラ走行枠② 30分 ドライバー：Yuma Sugita/Yuzuki Miura 15
- 15:15～ ロガー & 車載映像 解析
- 15:50～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 16:00～ フォーミュラ走行枠③ 60分 ドライバー：Yuma Sugita/Yuzuki Miura
- 17:05～ ロガー & 車載映像 解析
- 17:30 解散





## 引き出しを増やす

1期生の三浦と2期生の杉田がトレーニングに参加しました。天候は晴れ。雨の心配はありませんでした。

この日はいつものスクールカーとは別にもう一台別のカテゴリーの車両を用意。スクールカーには杉田。別カテゴリーの車両に三浦が乗ることになりました。

1セッション目が始まり、2台同時にピットアウトしていきました。杉田は前回からの走りの課題を克服するべく周回を重ねます。三浦は、初めて乗る車両に慣れていくための時間となりました。

2セッション目がスタート。杉田は順調に走行しているように見えてましたが、セッション途中で緊急ピットイン。シフトが入りづらいとコメントがあり、コックピット内のギヤシフトを行うシフトノブを確認したところ、それを支えるパーツが破損していることが判明し、杉田はこれで走行を取りやめました。三浦は周回を重ね、ペースを上げていきました。

3セッション目は三浦のみが走行。杉田はコース外でライバルたちの走りを見学する時間として活用しました。三浦は、この日のターゲットタイムを0.6秒も上回り、良い形でこの日のプログラムを終えました。





### Yuzuki - MIURA (15) Best 1.40.733

今月はリズムに乗れた三浦。気持ちと運転が噛み合い始め、ラップタイムにも反映させられています。また、これまで乗ったことのない車両でのトレーニングも行い、確実に経験値を増やしていています。



### Yuma - SUGITA (14) Best 1.41.131

初のクラッシュを経験した杉田。大事なのはその後の走りです。心配していたペースダウンはなく、いつものレベルにまで、すぐに持っていくことができました。今回のミスから学び、大きなものを得てもらいたいです。





### Kamui - HASHIRAMOTO (12) *Best 42.329*

今回も3期生の中で首位となった柱本。修正能力も高く、講師からのアドバイスを実践することができるため、今後も伸びしろが大きくあります。講師とは2秒以上のタイム差があるため、満足せず常に上を目指すことが重要です。



### Tomo - ONOHARA (10) *Best 42.562*

今回、3名の中で最も成長を感じたのは小野原です。いつもは慎重派なドライバーでしたが、今回は走り始めから勢いがあり、終始攻めの姿勢でした。今回の結果で自信をつけてさらに上を狙ってもらいたいです。



### Haein - HWANG (10) *Best 43.045*

今月は歯車がかみ合わなかったファン。ブレーキングでは持ち前のセンスを見せますが、シフトミスが目立ちます。ただし前回からの課題は克服できつつあるため、まずは目の前の課題をクリアにしてほしいです。





## 【トレーニングを終えて】

“こどもがクルマを運転する”

このプロジェクトがスタートして、2月でちょうど2年を迎えることができました。

この2年間で子供たちは大きく成長し、またドライビングスキルも着実に進化し続けています。

この前代未聞の企画に対して、賛同・協賛していただいている企業様、応援者様に対して改めて感謝申し上げます。

これからも子供たちの夢に向かって一緒に進んで参ります。

Junior Drive講師 白石勇樹







Junior Drive  
Shiraishi Racing School

SPORTS KART



舞洲スポーツアイランド

Tommy kaira



GARAGE38  
Luce ed ombra



Artisanal Karting Group On



Junior Drive  
Shiraishi Racing School

